



株式会社JPホールディングス
代表取締役社長
坂井 徹

1973年東京都生まれ。早稲田大学大学院卒業後、米国企業に入社。その後、株式会社アトリウム執行役員戦略投資本部長に就任。2011年に以降、米国と日本に投資会社4社を創業し代表を務める。
2018年に株式会社JPホールディングス取締役、2019年に専務取締役、2020年より代表取締役社長に就任、現在に至る。

『大洗町の皆さま、はじめまして！』

私は、株式会社JPホールディングス代表取締役社長の坂井徹と申します。弊社は、日本全国で345か所の保育園、学童クラブ、児童館などを運営する東証プライム市場に上場している子育て支援企業のリーディングカンパニーです。保育園、学童クラブ、児童館では約35000人の園児・児童を日々保育・育成するとともに、子どもたちを取り巻く様々な社会問題・解決を図ることで、弊社の経営理念である「子育て支援を通じて笑顔溢れる社会づくりに貢献します」の実現を目指しております。

この度、弊社は、大洗町と子育てに関する「包括連携協定」を締結させて頂きました。この協定は、互いの連携を強化し、それぞれの資源を有効活用することで、大洗町のさらなる地域活性化と、子育て・教育支援の充実に寄与することを目的としています。このような素晴らしいご縁を頂きました事を心より感謝申し上げますとともに、この協定が実り多きものとなるよう、社員一同、期待に胸を膨らませております。

私たちはこれまで、子どもたちの健やかな成長を願い、多様な学びと体験の機会を提供してまいりました。今回、大洗町との包括連携協定を通じて、特に力を入れたい二つの願い、それは、①「大洗町と都会の子どもたち

を繋ぎ、交流と自然体験を通じて子どもたちの成長を支えたい」②「大洗町の豊かな自然と歴史を活かした体験プログラムを都会の子どもにも提供し大洗町発展に寄与したい」という願いです。

大洗町は、太平洋に面した美しい海と、豊かな自然に恵まれた町です。海岸線から広がる風景、季節ごとに変化する風と光、そして自然と共に暮らす人々の温かさ―そうした大洗の魅力が、都会の子どもたちにかげがえのない学びと感動を与えてくれます。

大洗町の豊かな自然の中で行うイングリッシュキャンプ、海辺のキャンプ場で潮風を感じながらの共同生活や団体行動を通じて、自主性や社会性を養うことができます。また、近隣のアクアワールド茨城県大洗水族館での海の生き物との触れ合いや、夜空を彩る花火大会は、都会では味わえない感動と学びを提供してくれるはずです。これらの体験は、都会の子どもたちにとって、大洗町の豊かな自然はかけがえのない学びの場となり、子どもたちが多様な環境に適応し、豊かな心を育む上で貴重な機会となります。

大洗町と都会の子どもたちの交流も、この協定の重要な目的の一つです。大洗町の子どもたちと都会の子どもたちが共に学び、共に体験することで、互いの文化や生活様式への理解を深め、友情を育むことができます。このような交流は、子どもたち一人ひとりの視野を広げ、未来を担う人材として成長していくための大切な礎となると信じています。大

洗町の自然の中で、子どもたちは遊び、学び、挑戦することを通じて、自ら考え、行動する力を育みます。それは、未来を担う子どもたちにとって最も大切な力であり、私たちが次の世代に手渡すべき大きな贈り物です。

この度の協定締結にあたり、当社は企業版ふるさと納税を通じて、大洗町に寄付を行わせて頂きました。これは、大洗町の地域活性化への貢献と、未来を担う子どもたちの育成に対する私たちの強い思いの表れです。この寄付が、大洗町の子育て・教育環境のさらなる充実、そして子どもたちの笑顔のために活用される事を大変嬉しく思っております。

この協定を通じて、大洗町、地域の皆さま、そして自然体験プログラムを運営する大洗町の関係部門が一体となって、子どもたちと子育て世代が「大洗町の自然体験が素晴らしい」と心から思える地域づくりを進めてまいります。

今日までこの連携に向けて多大なるご尽力を賜りました大洗町の國井町長をはじめ、秘書広報課、生涯学習課、まちづくり推進課の皆さまに、心より感謝申し上げます。そして、これからも共に手を取り合い、大洗町と都会との連携を通じて、より良い未来を築いていくことを心より願っております。

「海と自然が育む、未来を生きる子どもたち」――この想いを胸に、ここから新たな一歩を共に踏み出しましょう。

「ソト」から見たおおあらいでは、各界でご活躍の方々から大洗についての寄稿をいただきます。